

第10回ガス制度検討委員会の資料を読んで

二重導管制度については、地域ごとに需給量と伸びに年度ごとに差と今後の情勢変化が、解らないので、事務局案の伸びの平均と地域ごとに獲得可能数字を替え、3年で状況を見る案に賛同するが、今回の提示は大手4社であるが、その他の会社についても、伸びを把握して、どうするのかの議論をすべきではないか。

事務局の欧州調査および東邦ガス様の前回の 45G への熱量ダウンの際の問題点についての、ご報告に感謝します。

両者の違いは、熱量がある幅で変動した時の影響と一定だが 1MJ 約 2%下げた場合の影響に対応した時の問題であるが、共通しているのは、工業用では熱量変化が製品の品質に大きく影響する場合があることで、それを踏まえた今後の議論をお願いしたい。

特に今回問題のあると言われた金属の浸炭処理や特殊ガラス会社からの意見をお伺いしたい。

また東邦ガス様は大変なご苦勞で 45GJ への変更をされたと思うが、その際のメリット(例：プロパンガス添加量減少によるコストダウン)、デメリット(例：初期費用)があると思うが、具体的な金額提示があれば、今後の参考になると思うので提示願いたい。

また、それ以外のメリット、デメリットに、どのようなものがあつたのかを教えてください。

凸版印刷 株式会社

山野 泰彦